

## メラニン色素合成 酵素運ぶ新分子発見

東北大の福田光則教授(生命科学研究科)らが、生物の体内でメラニン色素の合成酵素を運ぶ新分子を発見した。メラニンは肌のシミ、

ソバカスや黒髪の維持に関係しており、美白化粧品や白髪予防薬の開発に応用できる可能性がある。ヒトなどは紫外線から体を守るた

め、メラノサイトという細胞の中でメラニンを作り出す。しかし、メラノサイトの中で、合成酵素が必要な器官に移動する仕組みは、よ

く分かっていなかった。福田教授らは、ネズミの細胞で遺伝子操作の実験などを行い、合成酵素の輸送役であるたんぱく質を特定した。